



平岩小中
学校だより

三カ一心

さんりきいっしん

～地域とともにある平岩小中～

第17号

発行元：
日向市立平岩小中学校
(文責 校長・向江)
令和5年2月27日

立志式 「夢」を描こう！

「三寒四温」を繰り返しながら春を待つこの時期、各学年では、新たなステージに踏み出すための準備が加速しています。そのような中、8年生は、2月21日(火)の学校参観日に「立



志式」を実施しました。立志式とは、「武士社会の元服にちなんで15歳を祝う行事。将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深める」ために行うものです。

式では、演台から一人ずつ、将来の夢な

どを発表しました。「一意専心、目の前にことにひたすら集中したい」「自分の手で整備した自動車を世界の人たちに乗ってもらいたい」「貧しい人たちの住んでいる所に向向き、サポートしたい」「『期待とかクソくらえ。戦え。』



という歌詞が心に刺さり、自分のために頑張ることにした」など、それぞれの思いを言葉で表現していました。

志を新たに進級し、最上級生として本校を牽引してくれることを期待しています。

また、事前に作成した「しおり」には、「決意」



教頭祝辞

新入学保護者説明会

入学式は、
4月12日(水)

来年度の入学予定者は、現在16名です。2月9日(木)に新入学保護者の方に来校していただき、学校の概要や教育方針、入学までの準備等について説明しました。私からは、スウェーデンの中学校の教科書に掲載されている下の詩を紹介しました。

批判ばかりされた子どもは
非難されることを おぼえる
殴られて大きくなった子どもは
力にたよることを おぼえる
笑いものにされた子どもは
ものを言わずにいることを
おぼえる
皮肉にさらされた子どもは
鈍い良心のもちぬしとなる
しかし、激励をうけた子どもは
自信を おぼえる
寛容にであつた子どもは
忍耐を おぼえる
賞賛をうけた子どもは
評価することを おぼえる
フェアプレーを経験した子どもは
公正を おぼえる
友情を知る 子どもは
親切をおぼえる
安心を経験した子どもは
信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは
世界中の愛情を感じとることを
おぼえる

「あなた自身の社会、スウェーデンの中学教科書」
(アーネ・リンドクヴィスト・ヤン・ウェステル著。川上邦夫訳) より引用



ICT活用授業



初期研・富山先生



6年生の読み聞かせ

3月の行事予定

7(火)・8(水) 県立高校一般入試 (3/3 事前指導) 【9年】 / 9(木) 感謝集会 (安全監視員) / 10(金) 送別遠足 / 14(火) 思春期カウンセリング講座 【9年】 / 16(木) 卒業式 (3/15 予行練習・準備) / 17(金) 県立高校入試合格発表 【9年】 / 23(木) 課程修了式 【小】 (3/20 予行練習、3/22 準備) / 3/24(金) 修了式 / 3/25(土)～4/6(木) 春季休業 / 3/30(木) 離任式(予定)

平岩勝軍地蔵尊大祭

「地域の宝」を残そう！



旧暦の1月24日縁日(新暦の2月13日)から3日間、「平岩地蔵尊大祭」が催されました。見所は、何と言っても大祭

期間中のみ一般公開される、約200前に木食行道上人が残した「愛宕勝軍地蔵坐像」(左上)等と、地域の方や参拝者が多数参加しての日本一大きい「櫓餅つき」(右下)です。

コロナ禍で学校として参加できませんでしたが、来年度はこの地域の祭りが「持続可能な祭り」となるよう、地域の中にある学校として、積極的に参画していきたいと思ひます。



や「夢」のほか、「私の年表」「30歳の私への手紙」「家族のみんなへ」、そして「家族からのメッセージ」が添えられていました。実行委員の甲斐さん、廣瀬さん、藤崎君、松本(み)さん、お疲れ様でした。

新入学保護者説明会

入学式は、
4月12日(水)

来年度の入学予定者は、現在16名です。2月9日(木)に新入学保護者の方に来校していただき、学校の概要や教育方針、入学までの準備等について説明しました。私からは、スウェーデンの中学校の教科書に掲載されている下の詩を紹介しました。

批判ばかりされた子どもは
非難されることを おぼえる
殴られて大きくなった子どもは
力にたよることを おぼえる
笑いものにされた子どもは
ものを言わずにいることを
おぼえる
皮肉にさらされた子どもは
鈍い良心のもちぬしとなる
しかし、激励をうけた子どもは
自信を おぼえる
寛容にであつた子どもは
忍耐を おぼえる
賞賛をうけた子どもは
評価することを おぼえる
フェアプレーを経験した子どもは
公正を おぼえる
友情を知る 子どもは
親切をおぼえる
安心を経験した子どもは
信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは
世界中の愛情を感じとることを
おぼえる

「あなた自身の社会、スウェーデンの中学教科書」
(アーネ・リンドクヴィスト・ヤン・ウェステル著。川上邦夫訳) より引用

学校保健委員会

「真実」を
見極めよう！

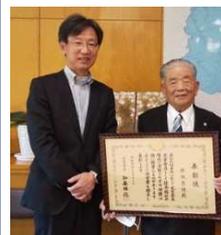
2/16(木)、渡辺産婦人科の渡辺恵美薬剤師を講師に招き、「学校保健委員会」を実施しました。その中で、日本の子宮頸がんワクチンの接種率の低さと死



亡率の高さから、子どもたちの世代に負の遺産を残さないためにも、ワクチンの効用を正しく理解させる教育の必要性を強く指摘されていました。真実と虚構が渦巻く社会を生き抜いて行くためには、真実を見極める力が必要のようです。

厚生労働大臣 功労賞

主任児童委員(学校運営協議会委員)の佐保さんが永年にわたる功績により、厚生労働大臣から「功労賞」が授与されました。



税の絵はがきコンテスト



「税に関する絵はがきコンテスト」(主催:宮崎県法人会連合会)において、児玉紗夏さん(6年)が「県優秀賞」に輝きました。また、県北法人会主催の同コンテストで長埜水鈴さん(6年)が「女性部会長賞」を受賞しました。

◆◆平岩小中ホームページ◆◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1606/> から、学校だより等、学校の情報をご覧いただけます。

平岩小中

検索

☺☺☺☺ 現在、LINE等で問いかけると瞬時に返信がある。情報があふれ、知らなくていい情報まで知りたくなり、時間を奪われてしまっている。昭和の頃は、家庭の黒電話が唯一の通信手段で、子供は「文通」っていう手紙のやり取りで情報交換をしていた。返事が来るのが待ち遠しかったけど、いい時代だった。(向江)

